

福島県南相馬市で少子化問題に向き合ってきた、えにしづくり担当係長・渡部貴光氏と、ヒューレックス株式会社（仙台市青葉区）の浅野有史金融機関サポートセンター営業開発部長兼マリッジ株式会社あわせ部長が対談。少子化対策としてマリッジの結婚相手紹介サービスを導入した経緯と成果、および今後の活動方針について話を聞いた。

浅野 婚姻数・出生数の減少と共に伴う少子高齢化の加速は、日本全体の最重要課題です。南相馬市の現状と課題をお聞かせください。

渡部 南相馬市は、家族や友人と共に暮らし続けられる「100年のまちづくり」をコンセプトに市政運営を行っており、人口の維持は地域存続の根幹を成す課題という視点で取り組んでいます。

しかししながら1990年に約1万6000人だった15歳未満の子どもは2020年には5099人に減少。人口に占める15歳未満の割合も8・8%と、福島県内13市で最も低くなっています。出生数も減っており、10年は579人でしたが22年には269人となり、40年には190人になると推計しています。

少子化対策は喫緊の課題であり、課題解決に婚活支援は不可欠要素であることから、20年度より「えにしづくり担当係長」という少子化対策専任のポスト

を新設。22年度に「みらいづくり1・8プロジェクト」を立ち上げ、市の総力を挙げ緊急的な少子化対策の推進に取り組んでいます。

少子化対策は喫緊の課題であり、課題解決に婚活支援は不可欠要素であることから、20年度より「えにしづくり担当係長」という少子化対策専任のポスト

ます。20年の国勢調査によると、市内に住む20代・30代の6割近い5500人が未婚者で、そのうち男性が3500人で女性が2000人。そのため婚活イベントの参加者を市内限定で募集す

「一年成婚サポート事業」の導入

が出会い目的から成婚目的に変化しておりますが、南相馬市はいかがですか。

渡部 16年度より本格的な婚活支援としてイベントなどを開催してきましたが、この9年間で成婚件数は8組。そのうち市内在住は11人。十分な成果とは言えない状況です。その要因はさまざまですが、男女の比率がいびつな点も大きいと捉えてい

機会がないからだという回答が多く寄せられました。一方で、行政が出会い系の場として企画する婚活イベントに参加したことのある人は1割にも満たない。

対象年齢の知人女性にイベント開催を知らせると「行きません」というので、その理由をたずねると、「行政が提供する支援に参加すると、周囲から『あの人は自力で相手を見つけられない人』というレッテルが貼られてしまうから」と答えが返ってきて

ると男性が多く集まってしまい、出会い系の場としての平等性に欠けることが課題としてありました。

ト一本で進めていくのは難しいと考えるようになりました。

浅野 いろいろ勉強もされたそうですね。



マリッジ株
しあわせ部長

浅野 有史 氏

あさの・ゆうし 1963年生まれ。宮城県石巻市出身。東北学院大学卒業後、山一證券株式会社。未公開企業の上場支援などを行う。その後、ヒューレックス株式会社（仙台市青葉区）の金融機関サポートセンター営業開発部長。マリッジ株式会社あわせ部長を兼務。

The
地
方
創
生

若い方が求めているニーズと、我々が提供しているサービス

※南相馬市では期間および名称を変更して実施。誌面ではマリッジの「一年成婚サポート事業」で統一。

に子育て支援、さらには移住定住施策といったものまで幅広く事業を総合的に進める必要があるという考えに至り、婚活支援

見に触れて少子化対策は幅広い事業を総合的に進める必要があるという考えに至り、婚活支援

結婚支援で少子化対策を強化

福島県南相馬市 えにしづくり担当係長 兼
子育て支援拠点整備推進担当係長 渡部 貴光 氏

た。婚活支援についてイベント

と考えたためです。

ただいたのが、御社の「一年成婚サポート事業」でした。

浅野 「一年成婚サポート事

できると思つています。

ら結婚につながらなかつた

卷之三

る『結婚』にフォーカスし、この一年成婚サポート事業を導入

て、どのような特徴や工夫があるとお考えですか？

のサポートはとても大きいと思います。我々が利用者の方に

「事業」を利用し成婚された事が結構あります。それは担当

事例
者
事
よ
は
面も含め、女性に選んでもらえた
る、帰つてきたいと思つてもら
える、魅力あるまちづくりが非
常に重視される

の成婚へ至るまでの平均活動期間が6・9カ月という実績と、当市の市長からも「婚活は短期集中のほうがいい。」という点が合致したこと、また、独身男女の比率がいびつであるという本市の状況を踏まえ、市外も含めた出会いの機会づくりが重要な意味であります。

トでのカツプリングと違い、成婚までサポートし結果が分かります。また、利用者の手続きが簡素になることと、プライバシーへの配慮がなされていることで、イベントに参加するのを敬遠していた方で婚活を希望する方にも的確に行き届いた支援が

方へのコミュニケーションの個別講座や、服装などのアドバイスがあるため、安心感と信頼感があると評価しています。AIを活用している婚活相談やマッチングアプリでは利用者の質問に応じるだけの一方的な対応に

つきりしている方が参加しますので、少子化対策として多く自治体においても有効と感じています。

す
案
与
て
の
よ
す
しかし行政だけでは解決しきれない部分もあり、地域や企業の方々と連携していく必要性も感じています。

浅野 結婚を機に転職が必要になるケースがあります。そこで、マリッジ株式会社のグループ会社で転職支援を行っている

仙台經濟界



福島県南相馬市 えにしづくり担当係長兼子育て 支援拠点整備推進担当係長

渡部 貴光 氏

が、直接会つたり、利用者の中の生活スタイルに合わせてオンラインでもサポートしていくだけるので、その中でも満足度が高くなるので

実現しやすい地域を作っていく
必要があると考えています。男
女比率のいびつさは前述しまし
たが、例えば進学などを機に18
歳で遠くで出ていくても男性の
約半分は戻ってきます。一方で
女性が戻るのは3分の1か4分
の1くらい。戻りたいという要
望はあるのに戻れない現実も把
握しており、婚活と子育ての両
立支援はもちろんのこと、雇用

うした方々の転職を無料でサポートしています。結婚後の新しい生活に適した職場を紹介し、スマートなキャリアエンジニアを実現。結婚と転職を一貫して支援することが可能です。人生の大きな決断である結婚と転職が最高のものになるよう、地域の皆様と共に未来を描く支援をしてまいります。本日はありがとうございました。

と思います。女性に対しても
男性からのお見合いの申し
込みが多いのも良かつたで
すね。

